

浜田川総合開発事業（第二浜田ダム建設、浜田ダム再開発）

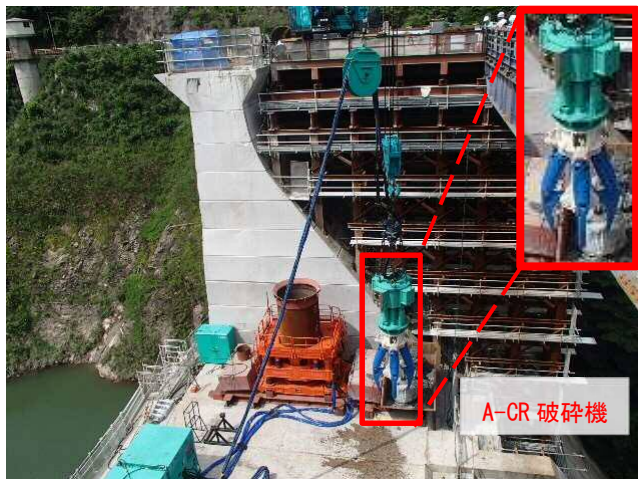
A-CR 工法で空気管を削孔しました！

浜田ダム再開発工事では左右に設置されている放流管の改造工事を行っています。

洪水時でも放流管に空気を供給し、水をスムーズに放流するための空気管（直径 1.5m、長さ約 22m）を新設する計画で、この空気管設置のために堤体に穴を開けました。

作業中にダムにひびが入らないようにするため、空気管の削孔には A-CR（アブソリュート・クラッシング）工法と呼ばれる振動、騒音を著しく抑えた地中圧砕機を使用する新工法を採用しました。A-CR 工法は全国で約 50 件の施工実績がありますが、その大半は都心部であり、島根県内の工事で採用されるのは初めてとなります。

1 日に約 3m 切削し、12 日間かけて 2 本の空気管の削孔を行いました。



A-CR 破砕機で管内のコンクリートを破砕！



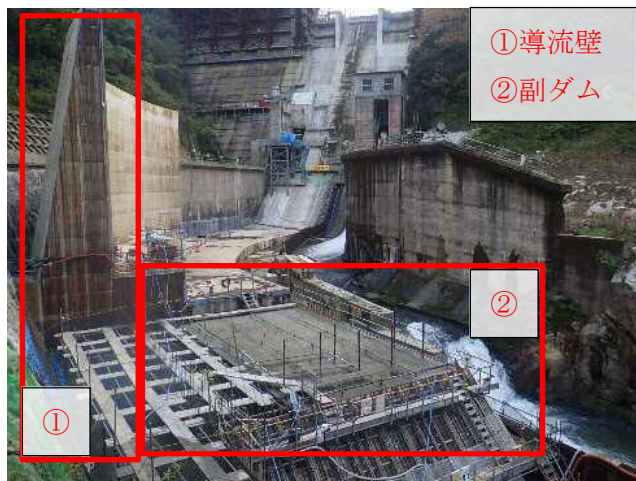
油圧グラブでコンクリート塊をキャッチ！

減勢工の打設を再開しました！

平成 29 年 10 月から右岸減勢工の打設を再開しました。減勢工は放流した水の越流を防ぐための導流壁と、勢いを弱めて土砂の洗堀を防ぐための副ダムで構成されます。平成 30 年 2 月完了予定で新たに高さ 18m の導流壁が立ち上がります。



減勢工施工位置



右岸減勢工施工状況

のみくち 呑口スクリーンを設置します！

ダム貯水池には、洪水時に大量の流木が流れ込み、放流管を傷つけてしまう可能性があります。^{のみくち}呑口スクリーンは、放流管内部に流木等が流れ込まないようにするためのもので、幅約 5m、高さ約 5m で格子状につくられた鋼製の構造物です。右岸側の^{のみくち}呑口スクリーン設置工事は平成 30 年 1 月末に完了する予定です。



のみくち
呑口スクリーン



浜田ダム貯水池内流木状況(平成 29 年 7 月 5 日豪雨)

浜田ダムの転流を行います！

川をせき止めるダムの改造工事は水を流しながら行う必要があるため、左右 2 本の放流管のうち片側ずつ締め切って工事をしています。

これまで左岸側から放流し、右岸側の^{げんせいこう}減勢工や放流管の改造工事を進めてきましたが、もうすぐこれらの工事が完了し、左岸側の工事に着手するため、放流管の切り替えを行います。この転流作業は平成 30 年 3 月を予定しています。

現場見学会を開催しました！

平成 29 年 11 月 9 日(木)に矢上高校、同月 14 日(火)に益田翔陽高校の生徒が現場を見学しました。

はじめに、事業概要について説明し、その後、浜田ダム再開発工事の現場を見学して頂きました。

将来性のある若い方々に建設業界に興味を持って頂けたら嬉しいです。今後も、建設工事の魅力発信のため、たくさんの方々の現場見学をお待ちしています。

問合せ先：浜田ダム再開発課 TEL:0855-29-5766

3 月以降は右岸側から放流します。



お問い合わせ先

安心して暮らせる地域のために！ 島根県浜田河川総合開発事務所

〒697-0041 島根県浜田市片庭町 254 島根県浜田合同庁舎 5 F
TEL 0855-29-5760 (代表、夜間・休日連絡先) FAX 0855-29-5772
ホームページ: <http://www.pref.shimane.lg.jp/hamadakasen/>
メールアドレス: hamadakasen@pref.shimane.lg.jp